

## 秋本番の時期になりました

秋が深まり、校庭の木々も色づきを増しています。早いもので二学期の中盤を迎えました。先月の体育科学習参観では、子どもたちが力いっぱいがんばる姿にあたたかいご声援をありがとうございました。

また、6年生は思い出多い修学旅行を終えることができました。いよいよ秋本番に向けて、学習やスポーツそして、学校行事等充実した日々が送れるよう、子どもたちと教職員ともに頑張っていきたいと思っています。



手紙

ゆうびんやさんが  
こない日でも  
あなたにとどけられる  
手紙はあるのです

ゆっくり過ぎる  
雲のかけ

庭にまいおりの  
たんぼぼのわた毛

おなかをすかした  
のらねこの声も

ごみ集めをしている人の  
ひたいの汗も・・・

みんな手紙なのです  
読もうとさえすれば

鈴木 敏史



今月は、私の好きな詩「手紙」をご紹介します。この詩の作者、鈴木敏史（すすぎ としちか）さんは昭和7年（1932年）長野県の生まれです。成人してからずっと病との闘いを余儀なくされましたが、その中で彼は、不平や不満を口にすることはありませんでした。この詩はそうした日々の中でつくられました。

「手紙」の詩には、美しい自然の織りなす風景の中に、「おなかをすかしたのらねこ」や「ひたいに汗をかいてごみを集めてくださっている人」の姿が登場しています。みんな彼のやさしい世界の中では、とても大切に映っているのです。

彼の作品には、かけがえのない自然に対する畏敬の念と、まわりの人々に対するかぎりない優しさやあたたかさがこめられています。「手紙」の詩をゆっくりと読んでみると、彼ならではの研ぎ澄まされた豊かな感受性とやさしさと思いやりがジーンとあたたかく伝わってきます。

校庭に出て、マスクを外せば、心地よい季節の風やにおいを運んでくれているのを感じます。私自身も身の回りの出来事から、また、嘉穂小の子どもたちから何気なく送られてくる様々なメッセージを「手紙」として読み取ろうとする心をもつことの大切さに改めて気づかされています。しなやかな感性と他者の立場になって考える想像力を高めていきたい…学校や家庭・地域でそのような子どもたちを育てていきたいと思うのです。

## 最高の思い出となった 6年生修学旅行

新型コロナウイルス感染対策のため、ほとんどの学校行事が中止になる中、10月23日（金）～24日（土）の1泊2日、6年生が、長崎市内とハウステンボスへ修学旅行に行ってきました。今できる最善の感染対策を行い、保護者の皆様のご理解とご協力、旅行業者や様々な関係者の方々のお力添えを持ちまして、6年生は、長崎の歴史や異国の文化に触れるとともに、戦争の恐ろしさや平和の尊さを学ぶことができ、思い出に残る有意義な修学旅行となりました。

この2日間、体調を崩すこともなく、63名全員が楽しく、無事に、人としての大切な「思いやり」や「感謝」の心も学んで、一回り大きく成長して帰って来られたことが一番でした。また、嘉穂小学校の一員として、礼儀正しく、きまりやルールを守り、友達と協力しながら、しっかりと学ぶことができた修学旅行であったと6年生をたくさん誉めました。あと半年で卒業する6年生。嘉穂小学校の最上級生として、これからの成長が、ますます楽しみです。



原爆投下中心地での平和集会



「語り部」溝浦さんの願いを聴く



ホテルでの夕食

## 5年生「プログラミング学習」に取り組んでいます

今年度からプログラミング学習が始まり、本校でも取り組んでいます。5年生は、ソフトウェア「パレット」を使って学習をしました。「信号機がどのような動いているのか考えて、自分の考え通りにプログラムを作り、信号を点滅させてみよう。」という学習内容でした。最初は、難しそうでしたが、「信号の色を変え、数秒ごとに点滅させるにはどうしたらいいか」など、友だちと相談しながらプログラミングを楽しみました。思い通りにプログラムが操作できなければ、何がいけないのか問題点を見つけ合い、修正をしながら、意欲的に活動をしていました。



## 11月のよてい

- 11月 2日(月) 登校指導日
- 4日(水) 委員会活動⑥
- 6日(金) 秋の遠足
- 9日(月) 5年校外学習(稲刈り)
- 20日(金) 登校指導日 避難訓練
- ※職員研修のため5校時終了後下校
- 24日(火) クラブ活動
- 25日(水) にこにこの日



### 《12月行事予定》

- 23日(水) 給食終了日
- 24日(木) 二学期終業式

